

政策評価調書(28年度実績)

政策名	大分県ブランド力の向上	政策コード	Ⅱ-6	関係部局名	企画振興部、生活環境部、農林水産部
-----	-------------	-------	-----	-------	-------------------

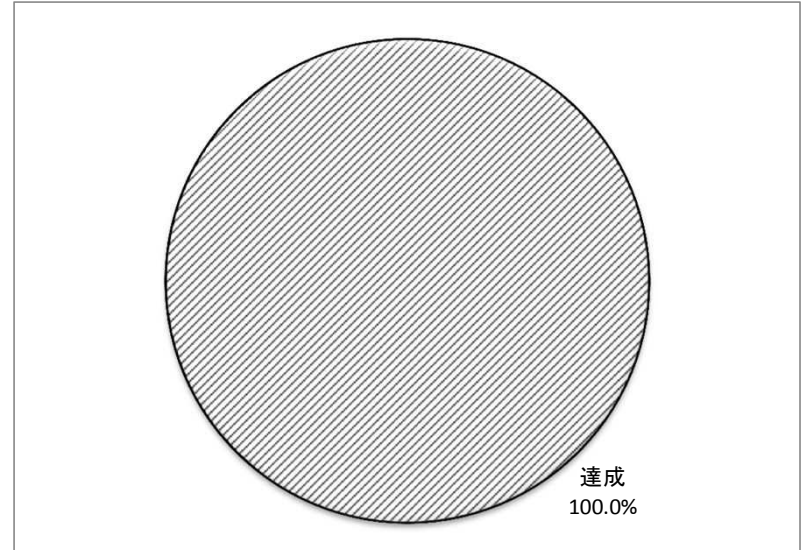
【Ⅰ. 政策の概要】

「おんせん県おおいた」の統一イメージの浸透や、世界農業遺産など世界ブランドの活用、政策と広報の連携強化やターゲットの明確化などによる広報の最適化、世界的スポーツイベントや海外ネットワークを活用した海外広報の強化によりブランド力を向上させ、地域活力の向上につなげる。

【Ⅲ. 政策を構成する施策の評価結果】

	施策名	指標評価	総合評価
1	戦略的広報の推進	達成	A

【Ⅱ. 構成施策の目標指標の達成状況】



達成	概ね達成	達成不十分	著しく不十分	指標合計
1	0	0	0	1

【Ⅴ. 政策を取り巻く社会経済情勢・今後の動向】

「自治体広報戦国時代」とも称されるほど地域間競争が激化しており、「おんせん県おおいた」としての統一イメージの浸透や世界農業遺産等のブランドを活用することにより、認知度も含め大分県のブランド力を向上させる必要がある。

消費者に「伝わる」広報にするため、マーケティングによる広報手法・媒体の選択など戦略的に取り組むとともに、SNSなど最新技術の活用等広報の最適化を進めることが重要であり、H28年度には、熊本地震後の県内外での積極的な情報発信や、シンフロの続編「ゆけ、シンフロ部！」の公開など各種メディアを活用した取り組みを行ったところである。

国が訪日外国人旅行者4,000万人、農林水産物・食品の輸出額1兆円等を2020年までに達成する目標を掲げ、外需を取り込む機運が高まる中、本県もインバウンド対策や県産品の輸出促進に向けて、海外広報の強化が求められている。

【Ⅳ. 評価が著しく不十分となった指標】

指標名	達成率
該当なし	—